

2026年度(第7回) 助成事業の募集要項

1. 目的 助成の主旨（定款）

本財団は、ものづくりに関する領域において各種支援活動を行い、広く深くものづくりに貢献することにより、科学技術の振興を図り、社会経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的に設立しました

- (1)素材から製品まで一貫した 生産技術に関する研究開発に対する支援
(2) 未来を切り拓く独創的な製品に関する研究開発に対する支援
(3) 科学技術分野における人材育成事業に対する支援
(4) 科学技術の振興に資する交流、普及、啓発に関する活動およびこれらの活動に対する支援
(5) その他この法人の目的を達成する為に必要な事業

2. 2026年度助成事業の募集要項一覧

助成対象	研究開発助成： ものづくりにおける環境負荷低減に寄与するプロダクト、プロセスの研究開発を助成対象とする			
<事業 1 >	助成分野	1. 生産技術に関する研究開発：素材から製品まで一貫した生産技術に関する研究開発 1－1. 金属の塑性を利用した加工に関する研究 1－2. 金属の特性を利用した溶融、接合、組立技術及びその生産システムに関する研究 1－3. 1－1. 1－2のプロセスに関する必要な金型、治工具、設備に関わる研究 2. 製品に関する研究開発：未来を切り拓く独創的な製品に関する研究開発 2－1. 自動車等輸送機器（含む航空機、ロケット、船舶）に関わる性能向上の研究 （例） エネルギー効率向上、消音/浄化向上、熱マネ性能向上 2－2. 自動車等輸送機器（含む航空機、ロケット、船舶）の関わるボデー骨格の研究 3. 材料等に関する研究開発：成形性、接合性に貢献する材料等に関する研究開発 3－1. 金属材料の研究 鉄鋼系、アルミ系、チタン系等 3－2. 非金属材料の研究 CFRP、GFRP、エンジニアリングプラスチック等の複合材料		
		助成先対象は、国内に所在する大学・高専・公共研究機関等にて生産技術、製品開発分野で研究開発業務に従事している者及び科学技術啓発教育分野を支援している大学、高等専門学校及び公共研究機関等の団体とする 国立の研究機関等で既に大型プロジェクトに参入している方の応募は遠慮下さい		
	助成件数と助成金	①若手：40歳以下の若手研究者（助成研究の始まる前の3月31日で満40歳以下） 7件程度 1テーマにつき100万円～200万円とする	助成金総額 14件程度 2400万円	
		②一般：年齢制限なし 7件程度 1テーマにつき100万円～200万円とする	（前年度実績） 13件 2420万円	
	選考基準	（1）助成事業目的との整合性（2）研究課題の重要性、実用可能性、研究方法の妥当性、研究環境（研究体制、研究設備）の適切性、研究経費の妥当性 特にカーボンニュートラルの観点から、省エネ、省工程化に寄与する研究は評価する		
助成対象	啓発教育助成： 事業1に関する研究開発助成の対象分野の啓発教育に関わる申請者主催の啓発教育活動の準備			
<事業 2 >	助成分野	1. 教育講座・体験プログラム（例） 青少年参加のものづくり体験プログラム等 2. イベント・会議 3. セミナー、研修会、講演会 4. シンポジウム (例) 青少年参加のものづくり体験プログラム等		
		助成先対象は、国内に所在する科学技術啓発教育分野を支援している大学、高等専門学校及び公共研究機関等の団体、高等学校課程終了後の上級課程の専攻科。教育対象は子供から大学院生までを推奨する		
	助成件数と助成金	①一般：年齢制限なし 8件程度 1テーマにつき20万円とする	助成金総額 8件程度 160万円 （前年度実績） 4件 80万円	
		選考基準	科学技術の振興と発展に関連する活動、集会、セミナー等 啓発教育活動であること等、当財団選考基準による 特に、ものづくりの体験型プログラムの啓発教育は評価する。また、複数年に渡り継続的に計画された教育活動は評価する	
助成期間	1年（2027年4月～2028年3月の研究及び活動の事業）とする。研究期間が複数年にわたる場合は、毎年応募願います 同一研究テーマの助成は3年間可能とする ただし、継続申請する場合は、活動中案件の進捗と活動中案件との変化点を明確に記載をお願いいたします 出産・育児・介護などの理由で研究活動を中断した研究者は、助成対象期間・成果報告時期を考慮する場合がありますので事務局へご相談ください			
応募方法	財団指定の申請書にて応募、申請書はホームページからダウンロードください 申込みフォームにそって、必要事項記入し、ホームページ上から送信ください			
申込期間	受付 2026年8月1日～9月30日まで。(事務局必着)			
選考方法	当財団に設置する選考委員会にて選考審査後、理事会にて決定する			
通知・助成	12月末までに選考審査、内定通知(予定)。3月までに理事会にて承認、3月末助成金を支給(予定)			
成果報告の提出、報告	研究終了後に「成果報告書」、「研究開発報告書」または「啓発教育報告書」を翌年度5月10日までに提出すること 研究途中の場合は、中間経過報告として提出すること 翌年度8月に成果報告会を予定しています			
申請先	456-0004愛知県名古屋市中熱田区桜田町17番12号 公益財団法人三五ものづくり財団			
お問合せ	お問合せは、ホームページのお問い合わせフォームよりお願いします https://sango-mono.or.jp/contact.html			